

第4回吉川地域小中一貫校開校準備委員会 議事録（要旨）

- 1 日 時： 令和8年9月11日（金） 午後7時～午後8時10分
- 2 場 所： 吉川町公民館 研修室
- 3 出席者： 石田 正治 吉川地区区長協議会
大垣 一弥 吉川地区区長協議会
石田 英之 吉川地区区長協議会
森下 顕 吉川町まちづくり協議会
谷郷 祐次 吉川町まちづくり協議会
安井 由次 吉川町まちづくり協議会
北住 義昭 吉川町まちづくり協議会
谷石 智美 よかわ認定こども園
高郷 理加 よかわ認定こども園
滝本 志保 よかわ認定こども園
大橋 晴美 吉川小学校 PTA
今村 大介 吉川中学校 PTA
土田 博 吉川中学校 PTA
杉原 千二三 吉川小・中学校学校運営協議会
福田 亮 元地域協議会委員
藤本 理恵 元地域協議会委員
富田 佳泰 吉川小学校 校長
宮脇 久典 吉川小学校 教頭
蓬萊 知子 吉川中学校 校長
坂本 伸明 吉川中学校 教頭
- 4 欠席者： 3名
- 5 事務局： 森田眞規教育総務部長、山口正明教育振興部長、
仲谷淳小中一貫教育推進室長、林和己小中一貫教育推進室主査、
丸岡晃一小中一貫教育推進室主査
- 6 傍聴人の数： 3名

報 告

- (1) 開校準備委員会（部会）の役割と報告フローの確認
- (2) 施設一体型小中一貫校整備プロジェクトの流れ
- (3) 基本計画（案）の説明

（委員長）

ただいまより、第4回吉川地域小中一貫校開校準備委員会を開会する。本日も集まりいただいたのは、前回（第3回）の全体会において事務局からの基本計画に関する説明に分かりにくい点があったためである。改めて基本構想から確認し、今後さらに円滑な協議ができるよう、事務局から再度説明を求めるものである。

（事務局）

前回（第3回）の全体会での基本計画説明の際、事務局の説明に分かりにくい点があったため、改めて基本構想からの流れを説明する。

(委員長)

それでは、次第の1番「開校準備委員会（部会）の役割と報告フローの確認」、次第の2番「施設一体型小中一貫校整備プロジェクトの流れ」、次第の3番「基本計画（案）の説明」について事務局から説明を求める。

〈事務局説明〉

(委員)

今回の小中一貫校では、特認校制度が非常に重要なポイントであると感じている。他校から転入してでも通いたいと思われるような特色ある学校運営を行うことで、児童数の現状維持につなげたいと考えており、特認校制度の具体的な検討スケジュールがあれば教えていただきたい。

(事務局)

特認校制度については、できるだけ早い段階で制度としてまとめていきたいと考えているが、現時点で具体的な時期は決まっていない。市全体のバランスを考慮しながら検討を進め、しかるべき段階で委員の皆様にも示し、意見をいただく考えである。

(委員)

口吉川小学校が将来的に統合される可能性がある場合、受け入れ人数が1学級35人に近づくことも考えられるが、現在の1学年1学級を前提とした計画で対応できるのか。

(事務局)

令和12年度開校時の1年生は33名程度を見込んでおり、転入生や特認校制度の利用により35人を超える可能性もある。そのため諸室にも余裕を持たせており、必要に応じて教室として転用し、1学年2学級の運用も可能となるよう計画を進めている。

(委員)

開校準備委員会の役割と報告の流れについて確認したい。専門部会で協議・決定した内容が全体会に上がる際は、部会として意見が一致した状態で報告されるという理解でよいのか。また、全体会で了承した内容が教育委員会で却下された場合、その内容を再度意見することはできなくなるのか。

(事務局)

基本的には認識のとおりであり、部会内で意見を整理したうえで全体会へ報告いただく流れである。教育委員会で対応が難しいと判断された場合には、却下の理由（構造上建てられない、費用面で対応が難しい等）を明示したうえで、次の全体会等で回答する形を考えている。回答の理由を踏まえた上で、必要に応じて再度意見を伺うことは可能である。

(委員)

配置図について、管理諸室ゾーンから見通しが確保できるとの説明であったが、実際には段差があり見渡しが難しいのではないかと感じた。低層化を検討する場合、どのような配置を想定しているか。

(事務局)

近隣の亀岡川東学園のように平屋で1学年1クラス程度の規模であれば日常的な交流がしやすいとの意見もいただいているが、吉川高校の敷地には段差があるため、平屋が可能かどうかも含め、1階建て・2階建てのいずれが適切か、今後の基本設計の中で検討を進めていく。

(委員長)

それでは閉会にあたり、副委員長から挨拶をお願いする。

(委員長)

事務局からも前回より詳しい説明があり、基本構想の段階から参加されている方は、同じような質問や意見を何度も重ねてこられたと思われるが、それが今回の基本計画にしっかり反映されていることが本日よく理解できた。今後、設計段階に進むにつれ、同様の意見や質問が改めて出てくることもあると思われるが、繰り返し伝えていくことも大切であると感じている。引き続き、子どもたちのためによりよい学校となるよう、協力をお願いしたい。